

2006年8月9日
MR/J28/06



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

メディア用原稿
非公式記録

国際連合大学 広報部
〒150-8925
東京渋谷区神宮前5-53-70

Tel.: 03-3499-2811
Fax: 03-3499-2828
E-mail: media@unu.edu
Website: http://www.unu.edu/

国連大学／ユネスコ国際会議 科学技術の課題と機会をさぐる

内容： 国連大学／ユネスコ国際会議「グローバル化：科学技術の課題と機会」
日時： 2006年8月23日（水）～24日（木）（両日共に午前10:00～）
場所： パシフィコ横浜会議センター
主催： 国際連合大学(UNU)、ユネスコ(UNESCO)
共催： 国連大学高等研究所(UNU-IAS)、(財)ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)
後援： 外務省(MOFA)、文部科学省(MEXT)、経済産業省(METI)、環境省(MOE)、
横浜国立大学、横浜市立大学、横浜市
協力： 2008年横浜サミット誘致推進協議会

背景：

- 科学技術、特に新しい情報通信技術はグローバル化のプロセスを推し進めていると同時に、グローバル化は、科学知識や新しい技術が生みだされ普及してゆく過程に大きな影響を与えている。
- 科学技術分野において、グローバル化は様々な利益をもたらし、社会経済の発展を促す新たな可能性を生み出すなど、肯定的な影響を与えている。一方で、グローバル化は、新たな課題や政策への問題提起をも生み出している。
- 2006年の国連大学／ユネスコ国際会議では、機会と挑戦の均衡を保つための革新的なアイデアの促進と、政策提案を考案する際に新たな見識をより効果的に盛り込むかをさぐる。

国連大学／ユネスコ国際会議について

- 国連大学／ユネスコ国際会議は、グローバル化をテーマに、国連大学とユネスコが共同主催している。今年で第5回目を迎える。
- 1日目は、基調講演および世界中から集まる専門家によるパネルディスカッションを予定。参加予定者は次のとおり。マハ・チャクリ・シリントーン王女殿下（タイ王国）、ナジヤ・アッサイド アフリカ連合（AU）人的資源・科学技術委員、尾身幸次 衆議院議員、ガバダーン・メータ 国際科学会議（ICSU）会長、ハマ・アルバ・ディアロ 国連砂漠化対処条約（UNCCD）事務局長。
- 2日目は、社会経済へのグローバル化と科学技術の関連性および貢献を4つの分野（知識の共有、貿易と技術移転、社会と政策立案、持続可能な開発のための科学技術教育）にわけて、パネリスト達によるディスカッション形式でワークショップを行う。
- 23日（水）は、同時通訳あり。24日（木）は英語のみ。
- プログラムおよび講演者、パネリストのプロフィール（英文のみ）については、ウェブサイトを参照。<http://www.unu.edu/globalization/> 本ウェブサイトは、会議後も記録としてオンラインで閲覧可能とする予定。
- 本講演は、ウェブキャストでも閲覧可能。<http://c3.unu.edu/unuvideo/?91>

取材をご希望される方は、お席のご用意をさせていただきます。下記担当者までお知らせください。
国連大学広報部、担当：谷野（やの）（電話：03-5467-1311；メール：media@unu.edu）

* パシフィコ横浜、会議センターへの地図：<http://www.pacifico.co.jp/accessmap.html>